

清流の国ぎふ

SDGs推進フォーラム2022

2015年に採択されたSDGs。2030年を期限とするこの国際目標は、いよいよ来年「折り返し地点」を迎えます。この間、企業・自治体・学校・地域など様々な場所で、ゴール達成に向けた努力を積み重ねてきました。今、わたしたちに必要なものは何か。SDGsの本質に迫り、その答えを探ります。



2022年 **10**月**4**日[火]

時間 13:30~15:30

場所 ぎふ清流文化プラザ 2階「長良川ホール」
(岐阜市学園町3-42)

参加無料

先着**250**名



第1部 基調講演 13:30~(60分)

※第2部 パネルディスカッションにも登壇

肝心なのは 「つながる・つなげる」こと

～一人ひとりの努力を「持続可能な世界」
に向けた大きな流れにしていけるために～

講師: **稲場 雅紀** 氏

(NPO法人アフリカ日本協議会共同代表、
政府「SDGs推進円卓会議」構成員 他)

- ・1990年代に都市貧困問題やLGBTの人権に取り組んだ後、2002年からNPO法人アフリカ日本協議会でエイズなど感染症や保健の課題に取り組む。
- ・2005年以降、途上国の貧困の軽減を目指す国連の「ミレニアム開発目標(MDGs)」の達成のための啓発や政策提言に従事。2012年から市民社会の立場から国連のSDGs策定プロセスに参加。
- ・2016年から政府「SDGs推進円卓会議」構成員。2020年に岩波新書「SDGs危機の時代の羅針盤」を共著。

第2部 パネルディスカッション 14:45~(45分)

わたしたちの考えるSDGsのカタチ



篠田 花子 氏

(一般社団法人ヒトノネ
代表理事)

子どもたちの考える力を育む
学童保育・放課後等デイサービス事業を運営。
不登校児童の居場所づくりや子育て支援を通じた女性の働きやすいまちづくりを実現。



神田 浩史 氏

(NPO法人泉京・垂井
副代表理事)

行政、事業者・企業と協働して、『より幸福度の高いまち・垂井』の実現を目指し活動。
地域を見つめ直す地産地消や世界とつながるフェアトレードを実践。



松永 宗憲 氏

(坂下小水力発電株式会社
代表取締役)

飛騨市宮川町の宮川支流で地元の協力を得ながら小水力発電事業を展開。再生可能エネルギー電気ので「地産地消」による持続可能な地域づくりを実現。



三島 愛 氏・瀧 朋花 氏

(郡上北高校3年生
食品ロス減らし隊リターンズ)

小中学生や地域への呼びかけ、廃棄食材の有効活用による食品ロス削減を実践。その取組みが2021年「SDGs Questみらい甲子園」東海エリア大会 朝日新聞社賞を受賞。

YouTubeによる生配信

●下記URLまたは二次元コードよりご視聴いただけます。



こちらから



岐阜県公式
チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UChvulQxZmeK6odwQ-2t72ZQ>

■新型コロナウイルス感染症対策についてのごお願い

※会場収容人数の制限により、参加をお断りさせていただく場合がございますのでご了承ください。

※本シンポジウムの開催につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて、急遽、内容変更または中止させていただく場合がございます。何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

